

2014. 6. 25

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2014年 第1四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2014年第1四半期)

2014年1～3月のわが国の景気は、4月からの消費税率引き上げを控えて、自動車、家電、住宅販売など個人消費が盛り上り堅調に推移した。

化繊景況は、車両資材用の一部が落ち込んだものの、紙おむつ用やエアバッグ用などが堅調だったことで化繊生産は24.1万ト、前年同期比0.8%増とほぼ前年並みの水準であった。

国 内

- 1) 衣料用は、欧米向けのスポーツ・アウトドア用高密度織物の輸出が好調。ユニフォーム・ワーキング用は緩やかながら回復に転じた。パンストはプレーンタイプが堅調だったが柄物は低調が続き、起毛タイツは輸入品の大幅増加により落込みが目立った。保温肌着用は需要一巡に加え、昨年秋からの前倒し出荷が進んだため伸び悩んだ。ダウンジャケット用は昨年11月の気温が高めだったことが響いて低調であった。インテリア用は、4月からの消費税率引き上げを控えカーテン・カーペット向けが久方ぶりに盛り上がりを見せた。生活資材用は、紙おむつなど衛材用途が製品輸出の増加で好調に推移した。産業資材用は、エアバッグ用の糸輸出が好調だったが、タイヤコード向けは織物輸入が急増して落込みが著しい。カーシートは消費税率引き上げを控えた駆け込み需要で自動車販売が好調だったため増加したものの、軽自動車のシェア上昇で増加幅は限定された。震災復興関連では、除染処理用のフレコン・土嚢・シート用が動き出したが、漁網用は今年の補助金終了以降不振が続く。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）1.2%増、化繊0.1%減、紡績1.2%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が前年比2.9%減、化繊8.7%減、紡績10.1%減となった。（2010年=100、生産、在庫とも指数ベースでの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで20.2億ドル・前年比（以下同じ）2.4%減、一方円ベースでは2,072億円・8.1%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料・1.1%増、糸類・4.6%減、織物類・7.3%減、二次製品他・0.8%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の31.0%を占める中国が8.8%減の6.2億ドル、香港（3.6%減）、韓国（6.0%増）、台湾（0.2%増）、アセアン地域は、ベトナム（2.3%増）、タイ（8.5%減）、インドネシア（9.7%増）・マレーシア（25.2%増）となり、それ以外では米州（4.2%増）、西アジア（18.2%減）、欧州（2.6%減）であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで97.5億ドル・前年比（以下同じ）0.6%増、一方円ベースでは1兆34億円・12.1%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料1.7億ドル・1.9%減、糸類3.4億ドル・9.4%増、織物3.5億ドル・6.3%増、二次製品他88.9億ドル・0.1%増。仕出地別では、全体の65.7%を占める中国が4.1%減の64.0億ドル、韓国（3.8%

減)、台湾(7.9%増)、アセアン地域は、ベトナム(15.5%増)、インドネシア(6.3%増)、タイ(15.7%増)、マレーシア(20.9%増)、それ以外では、イタリア(5.5%減)、米国(3.1%減)となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2012.1-3	2013.1-3	2014.1-3	2013年比(%)	2012年比(%)
輸出	千ドル	2,381,874	2,068,196	2,017,960	-2.4	-15.3
計	百万円	189,348	191,611	207,181	8.1	9.4
繊維原料	千ドル	426,757	407,616	412,090	1.1	-3.4
糸類	〃	336,819	302,950	289,070	-4.6	-14.2
織物類	〃	741,256	630,977	584,675	-7.3	-21.1
二次製品他	〃	877,043	726,652	732,125	0.8	-16.5
輸入	千ドル	10,210,743	9,696,591	9,751,060	0.6	-4.5
計	百万円	809,760	894,746	1,003,391	12.1	23.9
繊維原料	千ドル	197,208	169,899	166,681	-1.9	-15.5
糸類	〃	356,460	313,345	342,727	9.4	-3.9
織物類	〃	368,574	333,076	354,130	6.3	-3.9
二次製品他	〃	9,288,501	8,880,271	8,887,521	0.1	-4.3
(うち衣類)	〃	(7,895,985)	(7,571,915)	(7,451,456)	-1.6	-5.6
輸出レート	円/ドル	79.5	92.6	102.7	10.8	29.2
輸入レート	円/ドル	79.3	92.3	102.9	11.5	29.8

(出所) 財務省

5) 化繊生産は24万1,083トン・前年比(以下同じ)0.8%増となり、うちセルロース繊維4万4,543トン・6.0%増、合繊19万6,540トン・0.3%減となった。期末在庫は8万746トン・3.8%減、うちセルロース繊維1万6,588トン・4.5%増、合繊6万4,158トン・5.8%減であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は15.2万トン・前年比(以下同じ)2.6%減。うち、繊維原料7.9万トン・5.0%減、糸類2.9万トン・3.0%減、織物類(面積ベース)1.35億㎡・0.8%減、二次製品2.2万トン・6.4%増となった。品種別では、レーヨンS34.0%減、ナイロンF10.8%増、ポリエステルF21.1%減、ポリエステルS26.1%減、アクリルS10.1%減、織物類(面積ベース)はナイロンF織物2.4%減、ポリエステルF織物2.2%増、ポリエステルS織物8.9%減であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は34.3万トン・前年比10.0%増。繊維原料1.6万トン・17.5%増、糸類5.3万トン・15.5%増、織物類(面積ベース)は1.59億㎡・1.1%増、二次製品24.5万トン・8.2%増、うち衣類11.6万トン・2.6%増となった。品種別では、レーヨンS2.7%増、ナイロンFは7.6%増、ポリエステルF21.3%増、ポリエステルS40.0%増、ポリエステル紡績糸11.1%増、織物類(面積ベース)はポリエステルF織物13.1%増、ポリエステルS織物15.0%減であった。

化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2012. 1-3	2013. 1-3	2014. 1-3	2013年比(%)	2012年比(%)
化繊生産	千トン	246.9	239.2	241.1	0.8	-2.4
セルロース	〃	43.9	42.0	44.5	6.0	1.5
合 織	〃	203.0	197.2	196.5	-0.3	-3.2
化繊在庫	〃	88.9	83.9	80.7	-3.8	-9.2
セルロース	〃	15.2	15.9	16.6	4.5	9.0
合 織	〃	73.7	68.1	64.2	-5.8	-13.0
化繊輸出	千トン	161.7	155.9	151.9	-2.6	-6.1
	100万ドル	1,525.9	1,335.4	1,294.8	-3.0	-15.1
	億円	1,213.5	1,237.3	1,329.3	7.4	9.5
繊維原料	千トン	83.7	83.6	79.4	-5.0	-5.1
糸 類	〃	30.1	29.7	28.8	-3.0	-4.3
織物類	百万㎡	151.9	136.5	135.5	-0.8	-10.8
二次製品	千トン	22.4	20.7	22.1	6.4	-1.6
化繊輸入	千トン	322.4	312.1	343.2	10.0	6.5
	100万ドル	4,420.6	4,129.5	4,186.6	1.4	-5.3
	億円	3,503.6	3,807.1	4,308.9	13.2	23.0
繊維原料	千トン	12.7	13.5	15.8	17.5	24.7
糸 類	〃	50.5	45.6	52.7	15.5	4.2
織物類	百万㎡	165.7	157.1	158.9	1.1	-4.1
二次製品他	千トン	231.3	226.4	245.0	8.2	5.9
(うち衣類)	〃	(117.1)	(112.8)	(115.7)	2.6	-1.2

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2014年第1四半期のフィラメントの生産は3万3,451トン・前年比12.1%の減、3月末在庫は1万951トン・前年同月比%13.7%の減。

衣料用：アウトドア・スポーツの国内向けは低調だったが、円高是正を背景に輸出ビジネスは好調で採算の改善に加え数量も増加。ブラックフォーマルはロードサイドショップ向けなど低価格帯品が堅調、主力の百貨店向けも回復してきた。昨夏の猛暑で店頭が盛り上った遊泳用水着向けが好調だったものの、競泳・フィットネス用は伸び悩んだ。コンプレッションウェアは有カスポーツアパレル向けのブランド品が健闘した。「ヨガ」用のニットが国内・輸出ともに好調が続く。

非衣料用：タイヤコードは織物輸入が大幅増、中国が全体の51.6%を占め、韓国に大差をつけた。更に、台湾を中心に強力糸の輸入も急増した。カーシートは消費税上げを控えた自動車販売の増加で堅調。カーテンは駆け込み需要に年度末需要が加わり、久方ぶりに活況を呈した。震災復興需要関連は、貯蔵施設の決定遅れで小休

止していた除染処理関連（フレコン・シートなど）が年明け以降動き出したが、漁網は昨年3月の復興補助金終了以来落込みが著しい。

フィラメント輸入：3万323トﾝ・前年同期比21.3%増、織物輸出は5,016万㎡・同2.2%増。

<ポリエステルS>

2014年第1四半期のポリエステルステーブルの生産は3万8,055トﾝ・前年比9.5%増、3月末在庫は1万5,643トﾝ・前年同月比5.9%の減。

紡績用：綿混向けは主力のユニフォーム分野が徐々に回復。レーヨン混・ウール混向けは衣料用のユニフォームが比較的順調であったが、資材向けは輸入糸が中心となり不振。純糸は帆布向けが今年1月の大雪対応で急増したが、インテリア関係や輸出が低迷した。

製綿用：消費税引き上げを前に駆け込み需要が期待されたが若干増に止まった。高値が続く羽毛の代替が話題になっているが、具体的な需要増には繋らず。

不織布用：衛材用は好調な中国向け製品輸出を背景に国内衛材メーカーはフル稼働が続き、原綿出荷も好調。生活資材用はパップ剤基布向けがニット商品との競合激化で苦戦。車両資材用は消費税上げを前に自動車の販売が増加したが、軽自動車のシェア上昇で数量増加は限定的。産業資材はフィルター・建材向けなどで設備投資の回復や住宅販売の好調を背景に上向いた。

ステーブル輸出：8,320トﾝ・前年同期比26.1%減、ステーブル輸入は8,573トﾝ・同40.0%の大幅増。織物輸出：3,318万㎡・同8.9%減。

<ナイロンF>

2014年第1四半期のフィラメントの生産は2万4,559トﾝ・前年比1.8%の増、3月末在庫は9,121トﾝ・前年同月比11.8%の減。

衣料用：プレーンパンストは順調であったが、依然として柄物の不振が続く、カラータイツは「黒」中心に低位安定。ハイテンションニットの国内向けは横這い、中国向け輸出は円高是正や日本品見直しを背景に盛り返した。輸出比率の高いアウトドア／ウインター用は円高是正を背景に米国向け中心に数量増を伴い盛り上った。

非衣料用：タイヤコード用のナイロン消費量は、オフロード車用タイヤの一部がラジアル化したことで低調、一方航空機タイヤ向けは好調。エアバッグ用強力糸の輸出好調が続き、今年に入ってフィリピン、ベトナムの増加が目立った。ホーサー（船舶係留用ロープ）は、シェールガス運搬用のLPGタンカーなど新造船の受注急増を背景に回復基調。カーペットは主力タイルカーペット向けが年度末や駆け込み需要を背景に好調、自動車用マットも自動車生産の回復で国内・輸出車向けともに堅調だった。

フィラメント輸出：9,962トﾝ・前年同期比10.8%増、フィラメント輸入：6,909トﾝ・同7.6%増。

<アクリルS>

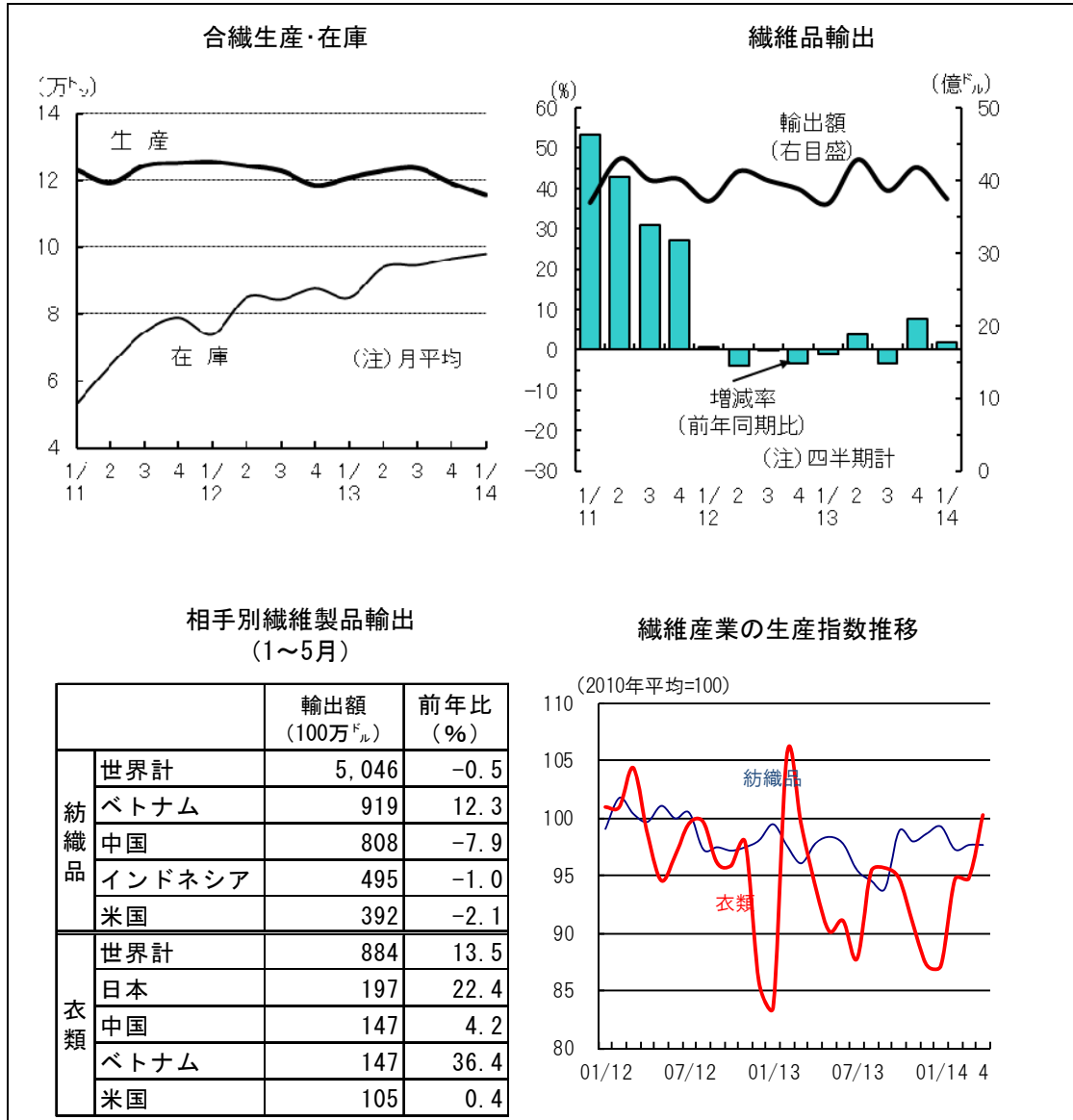
2014年第1四半期のステープルの生産は3万2,097トﾝ・前年比7.4%の減、12月末在庫は8,771トﾝ・前年同月比8.7%の減。

衣料用:保温肌着用は昨年秋から2014年シーズン向けのステープル出荷が前倒しで進んだことに加え、需要が一巡して飽和感が台頭したため伸び悩んだ。セーターはスクール向けが一部動いている程度で冴えない状況が続く。

建寝装用:毛布は長期低落傾向が続き最近特に落込みが著しいが、中国のミドル層向けを拡大することが復活のための一手段と考えられる。カーペットもアクリル企画の水回り品が少し残っている程度で不振が続いた。

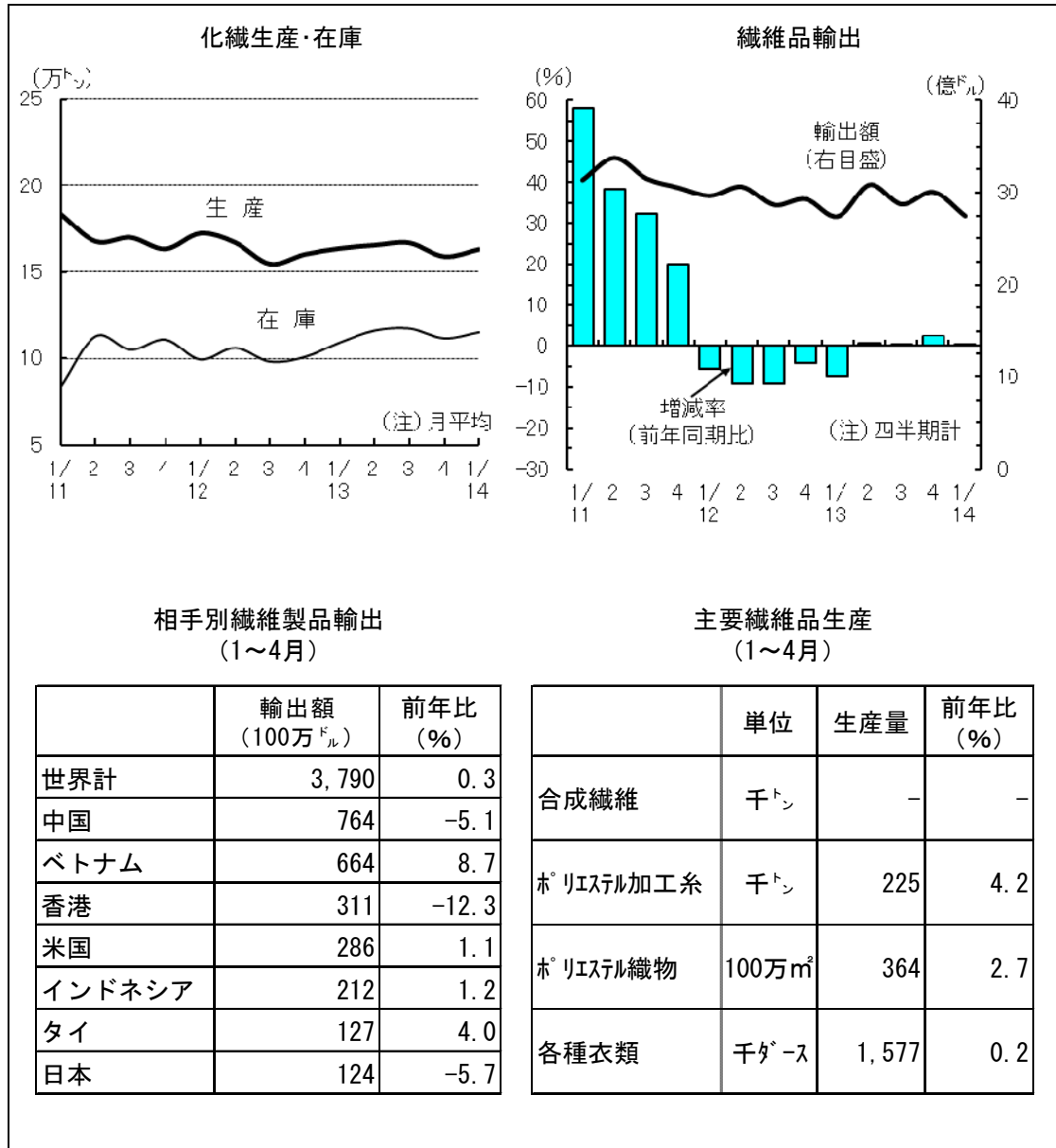
ステープル輸出:最大仕向地の中国が1万6,714トﾝ・前年同期比(以下同じ)23.6%の大幅減、これは主力の中国内需向けフェイクファーの店頭販売が昨年11月の暖冬に加え、春節商戦が短期間だったことで盛り上がり欠けたことが要因。セーター用抗ピル品も、同様の理由に加え、中国で「重ね着」のトレンドが進行しており低調だった。インドネシアは2,926トﾝ・2.2%減、セーター向け梳毛糸の低調が続いた。

7) 韓国



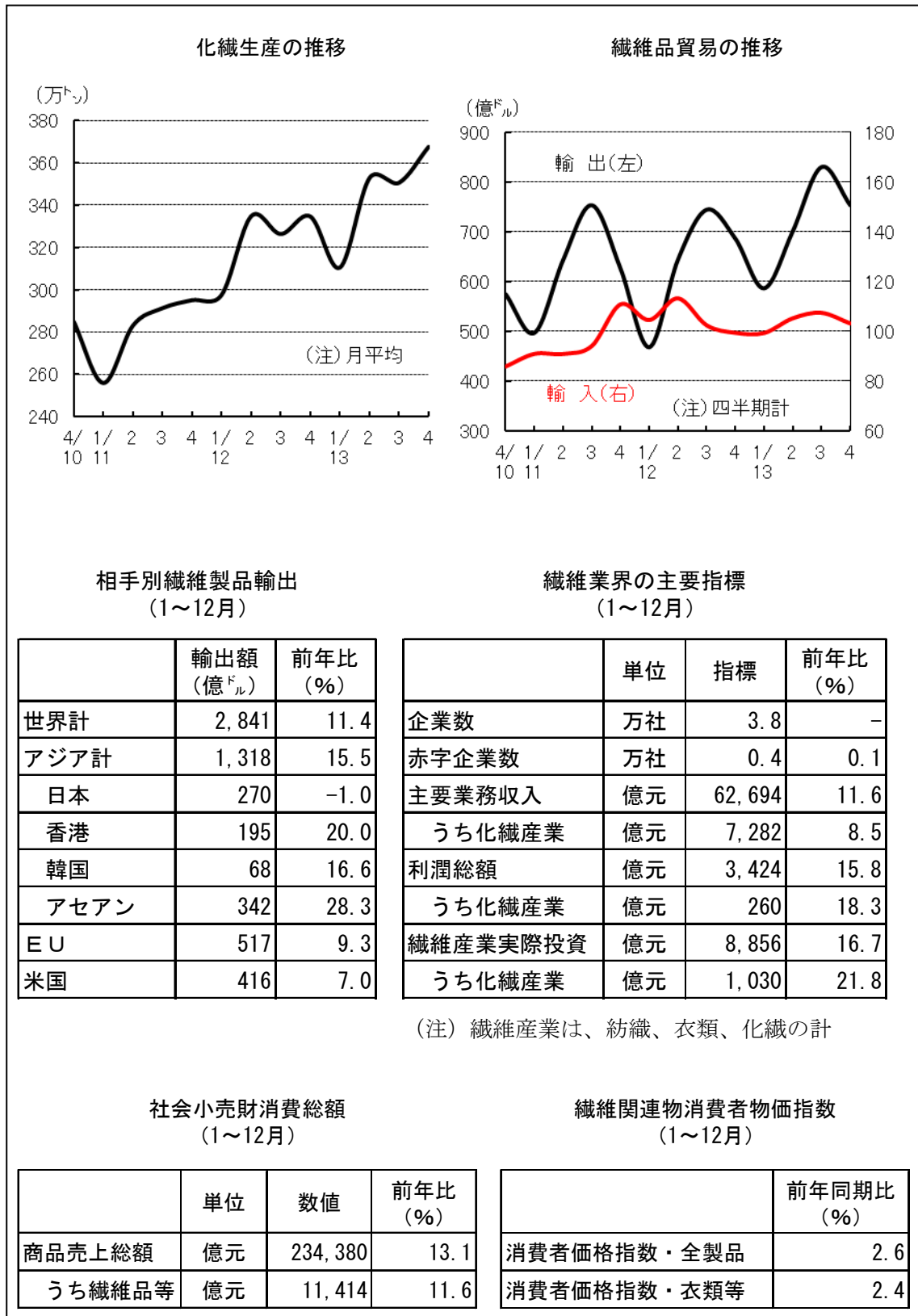
- ◆合織生産は減少したが、繊維品輸出は前期に引き続き増加した。
- ◆第1四半期の合織生産は前年同期比4.3%減の34.6万ト。期末在庫は同10.6%増の9.8万トと上昇傾向が続いている。
- ◆第1四半期の繊維品輸出は前年同期比1.7%増の37.4億ドルとなった。1~5月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品は全体で0.5%減、ベトナム向けが12.3%増となり、中国を抜き初めて最大の輸出相手となった。その他の主要仕向国は減少した。衣類は全体で13.5%増、日本向けは22.4%の大幅増、ベトナム向けも大幅増となった。
- ◆直近(2014年4月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比0.1%減、衣類は6.5%増となり、繊維品輸出同様、紡織品は低下、衣類は上昇となった。

8) 台湾



- ◆化繊生産、繊維品輸出ともほぼ前年実績並みとなった。
- ◆第1四半期の化繊生産は前年同期比0.3%減の48.9万トンとなった。合繊の期末在庫は前年同期比3.6%増の12.2万トンとなった。
- ◆第1四半期の繊維品輸出は、0.2%増の27.5億ドルとなった。1~4月の輸出を相手別にみると、最大の中国向けは5.1%減、香港向けが12.3%減となったが、ベトナム向けが8.7%増となった。
- ◆1~4月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は4.2%増、ポリエステル織物は2.7%増、衣類生産は0.2%増といずれも増産となった。

9) 中 国



相手別繊維製品輸出 (1~4月)			繊維業界の主要指標 (1~4月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	819	2.1	企業数	万社	3.7	-
アジア計	382	-3.6	赤字企業数	万社	0.6	-
日本	78	-8.2	主要業務収入	億円	19,190	8.7
香港	48	-20.4	うち化繊産業	億円	2,151	3.8
韓国	23	17.9	利潤総額	億円	900	11.6
アセアン	107	1.3	うち化繊産業	億円	56	11.6
EU	151	15.4	繊維産業実際投資	億円	2,335	14.2
米国	116	5.8	うち化繊産業	億円	276	8.3

社会小売財消費総額 (1~5月)				繊維関連物消費者物価指数 (1~5月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億円	103,032	12.1	消費者価格指数・全製品	2.3
うち繊維品等	億円	4,784	9.7	消費者価格指数・衣類等	2.3

- ◆1~4月の相手別の繊維製品輸出をみると、EU向けは前年同期比15.4%増の151億ドル、米国向けは5.8%増の116億ドルとともに堅調に推移した。アジア地域では、日本向けは8.2%減となった。これまで大幅増であったアセアン向けは1.3%増と鈍化した。
- ◆1~5月の繊維産業の主要指標をみると、主要業務収入は前年同期比8.7%増、利潤は11.6%増、そのうち化繊産業の主要業務収入は3.8%増、利潤は11.6%増となった。繊維産業の実際完成投資額は14.2%増、そのうち、化繊産業は8.3%増となった。
- ◆繊維産業の衣料用内需の伸びは堅調に推移している。1~5月の繊維品商品売上は前年同期比9.7%増と輸出を大きく上回る伸びとなった。衣類等の消費者物価指数は前年同期比2.3%上昇した。

合繊4品種需要実績

(2014年1～3月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2014年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,736	99.3	104.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,211	96.9	102.2
	計	63,947 (30,323)	97.6 (100.7)	103.0 (121.4)
輸出 (原糸、加工糸)		1,934	116.8	53.5
需要計		65,881	98.0	100.2
在庫		10,951	86.1	86.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2014年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,639	104.1	95.2
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	32,358	93.3	105.7
	計 (輸入)	36,999 (8,574)	97.7 (104.6)	108.4 (140.1)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		6,248	138.6	70.6
需要計		43,247	102.0	100.6
在庫		15,643	105.5	94.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2014年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,320	95.0	111.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	15,105	97.8	97.8
	計	24,425 (6,909)	96.7 (98.1)	102.6 (107.6)
輸出 (原糸、加工糸)		7,061	115.0	107.6
需要計		31,486	100.3	103.7
在庫		9,121	97.3	88.2

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2014年1～3月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	6,083	121.9	71.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,969	110.3	92.9
	計	8,051 (193)	118.8 (47.0)	75.8 (83.9)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		24,904	85.5	94.7
需要計		32,955	91.8	89.3
在庫		8,771	94.4	91.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量